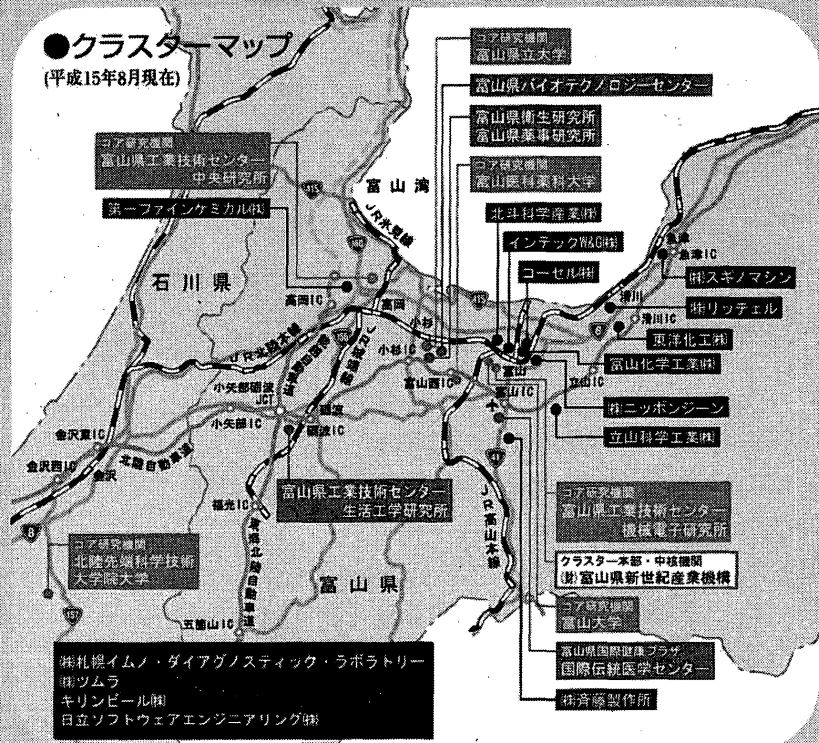


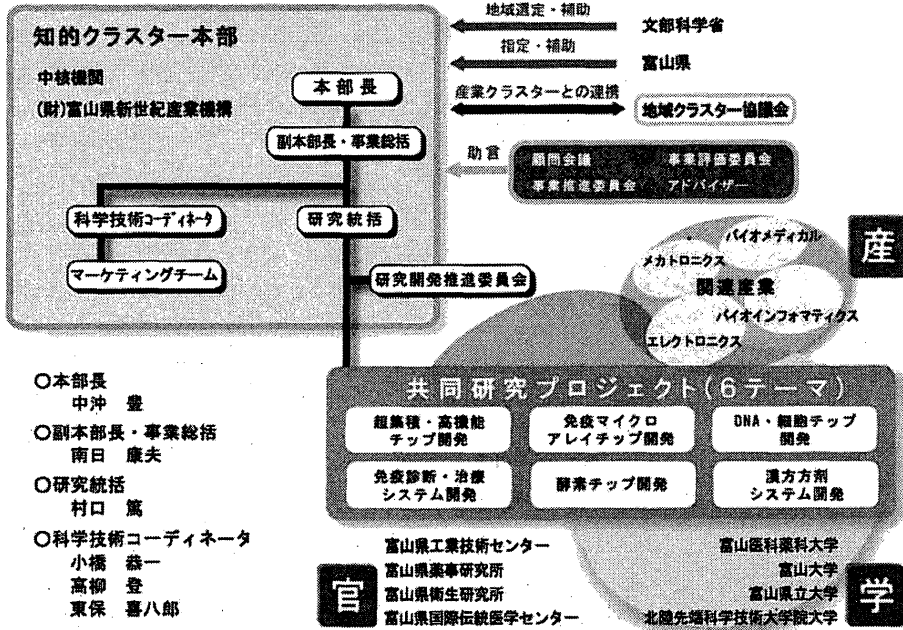
と やま医薬バイオクラスターがめざすもの

「とやま医薬バイオクラスター」では、医薬・バイオの技術と電子・微細加工の技術を融合し、新しい診断機器の開発や富山オリジナルの創業による新産業の創出をめざしています。

具体的には、富山医科薬科大学、富山大学、富山県立大学、北陸先端科学技術大学院大学、県立試験研究機関、県内外の企業が参加して、ヒトの免疫機能を活用した感染症などの診断・治療システムの開発、患者の体質に応じた漢方の診断・治療システムの開発等に取り組んでいます。



事業推進体制

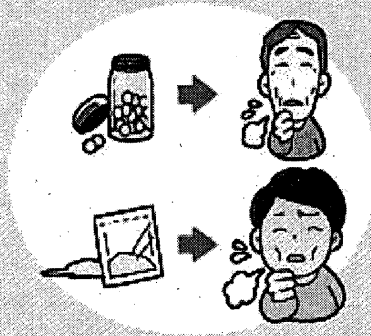


漢方方剤テーラーメイド医療法の開発 漢方医学の証の解明を目指した血漿プロテオミック・パターン解析

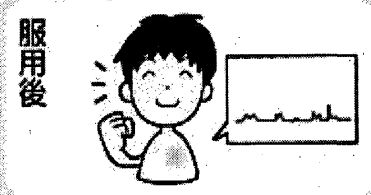
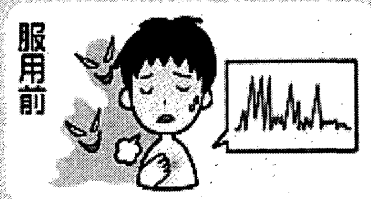
研究代表者 濟木 育夫
富山医科薬科大学 和漢薬研究所 病態生化学分野

患者の体質に応じた 漢方の診断・治療システム

漢方の診断は大変複雑で、同じ病気の人でも症状や体質が違えば用いる漢方薬も違います。



人間の健康に大切な役目を果たしているタンパク質の状況を測定し、漢方薬の服用前後でタンパク質の種類にどのような変化があったかを調べ、病気がよくなった原因を判定します。



症状や体質ごとのタンパク質のデータを収集できれば、患者のタンパク質の状況と収集したデータとを照合するだけで、その人にあった漢方薬を簡単に選び出すことができます。また、データを詳しく分析すれば、新しい薬を生み出すこともできます。

